

折下吉延 造園家、技術官僚。日本の緑地行政の基礎作りに貢献し、造園分野で後進を指導。

おりしもよしのぶ

明治14年政変 1881 = 新庄藩主戸沢子爵の東京麻布の邸内で、代々新庄藩主戸沢氏の家臣だった家に生まれる。

帝国憲法発布 1889 = 8歳：
帝国議会始 1890 = 9歳：

日清戦争始 1894 = 13歳：

麻布中学を経て、

Bushidou 1899 = 18歳：第一高等学校に進学。
洋画の三宅克己画伯の塾で水彩画を習い、風景画や静物画を描いたり、この学生時代に絵画へ親しんだことが、後に造園設計に大いに役立つことになる。
教科書疑獄 1902 = 21歳：卒業して、東京帝大農科大学農学科に入進学し、白井光太郎教授の植物病理学を専攻。近代の造園の発祥に貢献した原熙助教授から園芸学の講義を学び、造園の道を歩みはじめる契機となる。

日露戦争終 1905 = 24歳：

アソビ 創刊 1908 = 27歳：卒業。宮内省内苑寮技手となって新宿御苑に奉職、福羽逸人の下で御苑と代々木御料地の管理に関与。

大逆事件判決 1911 = 30歳：この頃、一時臨時講師として、東京府立園芸学校の授業を受け持つ。
明治天皇没 1912 = 31歳：奈良女子高等師範学校教授となり、園芸学を担当。3年これをつとめた後、

第一次大戦始 1914 = 33歳：檀原神宮の林苑整備事業に参画し、この事業にも力を尽す。
21ヶ条要求 1915 = 34歳：国家的事業として開始された東京代々木御料地内の明治神宮造営局技師に任じられてからは、明治神宮内外苑の設計施工に従事。表参道ケヤキ並木や神宮外苑の銀杏並木など、日本式典雅と洋風の折衷する手法で、従来の日本における造園事業で全く新しいデザインを実現して行く。

ロシア革命 1917 = 36歳：
ベルサイユ条約 1919 = 38歳：第一次世界大戦の影響によるバブルで、神宮造営工事も一時繰り延べされる事態になったことから、内務省囑託として、欧米の都市計画及び公園緑地事業等を視察。

大暴落 1920 = 39歳：帰国後長崎に移り長崎市顧問。
原敬首相暗殺 1921 = 40歳：長崎県囑託として県立雲仙公園整備などに取り組む。
水平社結成 1922 = 41歳：この年ようやく明治神宮造営工事が完了。
関東大震災 1923 = 42歳：関東大震災が勃発すると、臨時震災救護事務局事務官に任命され、公園内に設置する仮設住宅建設調整を担当し、帝都復興院技師兼明治神宮造営局技師に任命される。
護憲三派圧勝 1924 = 43歳：帝都復興院が廃止されて復興局になると、中央官庁の行政機関に公園を専管する組織が初めて誕生したことを意味する復興局建築部公園課長に任命され、東京の隅田公園、浜町公園、錦糸公園、横浜の山下公園など大公園の新設、東京・横浜の街路樹、広場の植栽など帝都復興事業の公園緑化の総括者として推進。

円本時代始 1926 = 45歳：
金融恐慌 1927 = 46歳：新庄城址公園心字池の修景工事を監修、その他、外苑青山口児童遊園のほか、地方公園では雲仙公園計画、広島市北治公園、松本市運動公園、京都市御成婚記念運動場、倉敷市向山公園、徳島市眉山公園、会津鶴ヶ城公園、高岡市二上山公園などに関わり、母校の東京帝国大学農学部講師として園邑計画論(公共緑地学)を担当し、人材育成した。
海軍軍縮条約 1930 = 49歳：心字池が完成。日本初のゴルフ場である学士会赤羽ゴルフ場を設計して先駆、台湾高雄のゴルフ場や台中市水源地公園などにも関与し、

満州事変 1931 = 50歳：
五一五事件 1932 = 51歳：帝都復興院理事に就任。当時は満鉄理事兼満鉄経済調査会長に就任していた十河信二に招かれて満鉄経済調査会の囑託となり、終戦まで大連に居をかまえ、

芥川直木賞始 1935 = 54歳：
日中戦争始 1937 = 56歳：東京大緑地計画委員、大連、長春、哈爾濱、上海、青島など各地の都市計画に参画し、公園緑地を重視する計画立案に関わり、大連市中央公園改良、吉林市北山公園、青島市青島神社境内、奉天市中央広場改良設計などに携わる。満州鞍山、大連星々浦、奉天東陵寺などや福島土湯ゴルフ場などを手がけた。

日米開戦 1941 = 60歳：
また、明治神宮造営局、復興局の部下や東大の教え子を大連、長春、哈爾濱、吉林、青島、北京など各地の行政機関に派遣し、都市計画と公園事業を推進した。優秀技術者を自由に任用しかつ地方に派遣、公共造園あるいは都市計画の人脈育成に最大の努力を払ったことで、事業を成功に導いた要因ともなった。

年金+総武装 1944 = 63歳：
敗戦 1945 = 64歳：引き上げ後は、
新憲法施行 1947 = 66歳：国立公園中央委員となり、
函館市内の公園調査、常盤公園、八幡市皿倉山、下関市火の山の風致計画、また東京の軍用跡地公園化の促進、首都の緑化推進など、造園家としての業績は著しい。中央と地方の都市計画の指導、また国立公園事業、さらに各地の都市公園計画を指導して、

朝鮮戦争始 1950 = 69歳：日本ガーデン協会理事長、
独立回復 1951 = 70歳：
テレビ放送始 1953 = 72歳：
自衛隊発足 1954 = 73歳：山形県総合開発審議会専門委員、
なべ底不況 1957 = 76歳：日本道路公団審議委員、

安保闘争 1960 = 79歳：

全国総合計画 1962 = 81歳：
いざなぎ景気 1966 = 85歳：_没した。

インターネットWikipediaほか、